

平成29年度 事業報告書

社会福祉法人

鎌ヶ谷市社会福祉協議会

平成29年度 事業報告

平成29年4月に改正社会福祉法の全面施行があり、本会においても、国、千葉県、鎌ヶ谷市からの通知等に準拠し、適切に推進してまいりました。

また、少子高齢化の進展に伴い、地域では、こどもの貧困問題、ひとり暮らしや認知症の高齢者の増加など、取り組まなければならない福祉課題・生活課題が生じています。

このような中、地域福祉の推進を図ることを目的とする本会は、地域福祉活動計画の地域福祉像である「思いやりと支えあいのあるまち かまがや」の実現を目指し、事業を進めてまいりました。

地域福祉活動計画の施策であります、地域福祉を支えるネットワークの推進として、地域包括ケアシステムの生活支援コーディネーターの設置について、平成30年1月に鎌ヶ谷市と協定を締結しました。併せてモデル地区として、北部地区（栗野、佐津間、軽井沢）を選定し準備に入りました。

1 法人運営

(1) 会務運営

◎理事会

第1回 平成29年5月25日（木）

- ・平成28年度事業報告について
- ・平成28年度決算について
- ・役員等の報酬に関する規程の制定について
- ・評議員の費用弁償に関する規程の制定について
- ・平成29年度定時評議員会開催について

第2回 平成29年6月23日（金）

- ・会長、副会長の選任について
- ・評議員候補者の推薦について
- ・経理規程の一部改正について

第3回 平成29年12月19日（火）

- ・定款施行細則の全部改正について

第4回 平成30年3月13日（火）

- ・定款の変更に伴う諸規程の一部改正について
- ・事務局規程の一部改正について

- ・事務処理規程の一部改正について
- ・就業規則の一部改正について
- ・役員等の費用弁償に関する規程の一部改正について
- ・役員等の報償および慶弔規程の一部改正について
- ・職員給与規程の一部改正について
- ・寄付者の表彰について
- ・福祉資金の償還免除について
- ・平成29年度補正予算について
- ・平成30年度事業計画案について
- ・平成30年度予算案について
- ・平成29年度第2回評議員会開催について

◎評議員会

第1回 平成29年6月22日（木）

- ・平成28年度事業報告について
- ・平成28年度決算について
- ・役員等の報酬に関する規程の制定について
- ・評議員の費用弁償に関する規程の制定について
- ・理事及び監事の選任について

第2回 平成30年3月22日（木）

- ・会員規程の一部改正について
- ・福祉資金の償還免除について
- ・平成29年度補正予算について
- ・平成30年度事業計画案について
- ・平成30年度予算案について

◎内部監査 平成29年5月8日（月）

- ・平成28年度事業報告について
- ・平成28年度会計決算諸表 について

(2) 社協会費の納入状況

①一般会費	9,413,985円(48自治会)
②法人会費	468,000円(88件)
③施設・団体会費	295,500円(55件)

合計 10,177,485円

○自治会へ福祉事業費として、2,325,000円を支出し、地域活動の推進に寄与した。

(3) 啓発事業及び福祉団体等への支援

- ・社協だより、事業パンフレット、ホームページ等で啓発に努めた。
- ・市内で火災による災害が発生したため、全焼1件、半焼1件に対し見舞金を交付した。
- ・法外援護費(帰宅旅費)を4名に払出した。
- ・民生委員児童委員協議会事務局として、会務の運営、専門部会活動への協力及び関係行政機関との連絡調整に努めた。また、千葉県民生委員児童委員協議会や全国民生委員児童委員連合会が主催する研修会等への参加を図るなど、民生委員児童委員の資質の向上に寄与した。
- ・遺族会の会務運営に協力した。
- ・民生委員児童委員協議会、老人クラブ連合会等、福祉関係団体に520,000円を助成し、その活動を支援した。
- ・市内全小中学校(14校)に福祉活動助成金として、一校当たり、50,000円を助成し、福祉教育(校内環境美化、高齢者との交流、福祉募金活動等)の支援に努めた。
- ・福祉健康フェアの開催に協力した。(入場者数約1,900名)
- ・すまいる祭りの開催。(約250名参加)
- ・住み慣れた地域で安心して暮らすことを目的に、地区社協役員、運営委員及び職員を対象に終活セミナーを実施した。(74名参加)
- ・制服リユース事業を実施した。(提供者56名248点、利用者91名162点)

2 地区社会福祉協議会事業

地域福祉活動の中核的組織として、高齢者から子どもまでの地域住民を対象とした事業を、6地区ごとに広報、ふれあい交流、在宅福祉、ボランティア育成などの各委員会が中心となり展開した。

○ 中央地区社会福祉協議会

	事業名	内容
広報啓発	地区社協広報紙 福祉健康フェア	<ul style="list-style-type: none"> ・「まごころ」（約 5,800 部）を年 2 回発行。 ・地区社協活動の内容展示パネルを作成し、啓発に努めた。
ふれあい交流	茶話会	<ul style="list-style-type: none"> ・70 歳以上の方を対象に、房総のむらへバスの旅、健康指導・体操、わなげや玉入れなどのゲーム及び「新年会（手話ダンス鑑賞）」等で交流した。 <p>（年 6 回延べ 249 名参加）</p>
在宅福祉	介護予防教室 お年寄りとの交流会	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方を対象に体操教室やウォーキングを実施した。（年 3 回延べ 137 名参加） ・ひとり暮らしの高齢者を対象に、4 つの地域で各援護グループの協力を得て、交流会を実施した。（年 8 回延べ 421 名参加）
ボランティア育成	鎌ヶ谷中学校 JRC 委員会と地域の方との交流会 ボランティア研修会	<ul style="list-style-type: none"> ・鎌中 JRC 委員会の生徒と地域の方とで、百人一首や茶道体験をしながら交流を図った。（51 名参加） ・運営委員や一般の方を対象に、手話教室を実施した。（年 2 回延べ 52 名参加） ・運営委員を対象に、中央消防署にて普通救命講習を実施した。（18 名参加）
実行委員会	ふれあいサロン	<ul style="list-style-type: none"> ・月に 1 回、地域の高齢者や小さな子ども連れの親子など、「誰でも気軽に集える場所」を目的にサロンを開催した。（年 12 回延べ 357 名参加）

◎見守りパトロール〈通年、4 委員会で月毎に実施した。〉

◎鎌ヶ谷中学校の行事招待状配布に協力した。（高齢者との交流）

○ 中央東地区社会福祉協議会

	事業名	内容
広報啓発	地区社協広報紙 福祉健康フェア ホームページ	<ul style="list-style-type: none"> ・「おもいやり」(5,500部)を年2回発行。 ・地区社協活動の内容展示パネルを作成し、啓発に努めた。 ・ホームページに掲載し、地区社協事業等の啓発に努めた。
ふれあい交流	ひょうたん祭り 地区ふれあい祭り <クリスマス会> バス研修会	<ul style="list-style-type: none"> ・模擬店(焼きそば・綿菓子) ・高齢者、障がい者、子どもを対象に手作りパーティーを実施した。(281名参加) ・運営委員と地域のボランティアを対象に、視察船「新東京丸」で研修を実施した。(41名参加)
在宅福祉	介護予防教室 援護グループ研修会	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方を対象にウォーキング講習、健康体操等を実施した。(年5回延べ173名参加) ・援護グループを対象に「避難所における知的障がい者への対応」についての講演及び「避難所運営ゲーム」を実施した。(46名参加)
ボランティア育成	ボランティア支援活動 青少年福祉活動 五本松小ふれあい会	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の特別養護老人ホームにおいて、定期的にボランティア活動「シーツ交換」を行った。(年10回延べ154名参加) ・初富、五本松小学校、第五中学校の児童生徒が、ひとり暮らしの高齢者の方を対象に手すきハガキを作り、お便りを出す事業を実施した。(年4回延べ107名参加) ・五本松小学校3年生と高齢者との交流会(昔あそびと給食)を実施した。(21名参加)
部会活動	あじさいグループ (ミニリハビリ教室) サロン事業(翔友会)	<ul style="list-style-type: none"> ・脳卒中などの後遺症で体の不自由な方を対象に血圧測定、ゲーム、歯科講習等を行った。(年9回延べ142名参加) ・お花見、七夕飾り、管理栄養士による講義などを行った。(年12回延べ406名参加) ・特別養護老人ホーム(翔裕園)の夏祭りの手伝いを行った。(2日延べ9名参加)

		<ul style="list-style-type: none"> ・特別養護老人ホーム（翔裕園）との情報交換を行った。（年3回）
その他	運営委員研修会	<ul style="list-style-type: none"> ・運営委員、地区ふれあい員、民生委員児童委員、援護グループを対象に「高齢化する地域を支えるために」研修会を実施した。（77名参加）

○ 東部地区社会福祉協議会

	事業名	内容
広報啓発	地区社協広報紙 チラシの発行 福祉健康フェア	<ul style="list-style-type: none"> ・「ふれあい」（8,300部）を年2回発行。号外版（事業計画掲載）を1回発行。 ・子どもの見守り啓発チラシを年3回発行。 ・地区社協活動の内容展示パネルを作成し、啓発に努めた。
地域交流	東部ふれあいまつり ふれあい福祉まつり 移動児童館 親子ビクス バスハイク	<ul style="list-style-type: none"> ・利用団体サークル発表会に参加。（1,893名参加） ・老人クラブ、談話室の発表、鎌ヶ谷ファイアーフレンズ消防音楽隊演奏を開催した。（1,022名参加） ・道野辺小、東部小の児童を対象に移動児童館事業に協力した。（年5回延べ294名参加） ・未就園児親子を対象に、子育て支援事業に協力した。（13組26名参加） ・閉じこもりがちな高齢者を対象に、かずさアカデミアパーク・DNA研究所を見学した。（42名参加）
健康福祉	ミニリハビリ教室 「ほのぼの会」 ふれあいサロン 「すみれ」	<ul style="list-style-type: none"> ・障がいのある方や高齢者を対象に、血圧測定、体操、ゲーム等を行った。（年12回延べ323名参加） ・誰でも気軽に立ち寄れる交流の場（おしゃべり・お茶飲み等）を提供した。（年12回延べ366名参加）

育成 研修	地区ふれあい員研修	<ul style="list-style-type: none"> ・委嘱式及び「地域の見守りについて」グループ討議を実施した。(138名参加) ・移動交番より電話de詐欺についてのお話を受け、またボランティア活動の方向性を話し合った。(36名参加) ・AED講習を行った。(32名参加) ・東部小、道野辺小学校児童を対象に「手作りおもちゃで遊ぼう」を実施した。(89名参加)
	ちよいボラの会研修 救命講習 青少年育成	
そ の 他	東部地区懇談会	<ul style="list-style-type: none"> ・第二中学校、道野辺小学校、東部小学校、各自治会長、地区社協役員、民生委員等と地区懇談会を開催した。(25名参加) ・第二中学校運動部男女生徒等による、一泊二日の避難生活体験学習。(57名参加)
	ジュニア防災キャンプ	

(ちよいボラの会)

<実績>ゴミだし43件

○ 西部地区社会福祉協議会

	事業名	内容
広 報 啓 発	地区社協広報紙	<ul style="list-style-type: none"> ・「あけぼの」(3,600部)を年2回発行。 ・号外版(事業計画掲載)を1回発行。 ・地区社協活動の内容展示パネルを作成し、啓発に努めた。
	福祉健康フェア	
地 域 交 流	いも煮会	<ul style="list-style-type: none"> ・いも煮会を実施した。<西部地区ふれあいまつりと同時開催。>(218名参加) ・くぬぎ山児童センター事業に協力し、こま、けん玉、かるた等を行った。(46名参加) ・地域の70歳以上の方を対象に、日舞、西部小、第三中学校の演奏を実施した。(367名参加)
	昔遊びの会	
	春のおたのしみ会	

在宅福祉	<p>オレンジ交友会 (認知症予防の会) 高齢者支援教室</p> <p>在宅介護者のつどい</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・脳トレ、ゲーム等を実施した。(年6回延べ206名参加) ・「介護保険、認知症について」の講話を実施した。 ・栄養士による栄養指導、歯科衛生士によると口腔ケア指導を実施した。(年2回延べ79名参加) ・介護をしている方の悩みごとを話し合い、アロマセラピーでリラックスできる体験会を実施した。(年2回延べ44名参加)
ボランティア育成	<p>体操講習会</p> <p>バス研修</p> <p>わかば (健康作りの会)</p> <p>ウォーキング</p> <p>講演会</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方を対象に国際武道大学の先生を招いて講習会を実施した。(年2回延べ92名参加) ・運営委員と地区ふれあい員、地域の高齢者を対象に、千葉県警察本部を見学した。 (32名参加) ・講師による体操教室を開催した。(年4回延べ150名参加) ・健康増進のために、西白井周辺から新鎌ヶ谷まで散策した。(27名参加) ・西部小学校・PTAと共催にて、障がい者スポーツ「デリバリー講座」を開催した。(247名参加)
その他	<p>ミニリハビリ教室 (こぶしの会)</p> <p>地域交流会</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・くぬぎ山地区の70歳以上の方を対象にカラオケ、ゲーム、脳トレ、血圧測定等を実施した。(年9回延べ497名参加) ・運営委員、民生委員、地区ふれあい員を対象に研修会「高齢化する地域を支えるために」を実施した。(75名参加)

○ 南部地区社会福祉協議会

	事業名	内容
広 報 啓 発	地区社協広報紙	<ul style="list-style-type: none"> ・「なんぶだより」（約6,000部）を年2回発行。 ・「なんぶだより」号外 新役員紹介。
在 宅 福 祉	さわやかライフ倶楽部 元気に楽しくウォーキング 高齢者バスハイキング 地区リハビリ教室 （さくら会） 子育て支援 秋のおたのしみ会	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方を対象に、健康体操を実施した。 （年4回延べ170名参加） ・船橋市藤原方面へのウォーキングを実施した。 （23名参加） ・ひとり暮らしの高齢者を対象に千葉ポートタワー、フラワーミュージアムで交流を図った。 （38名参加） ・障がいのある方を対象にグラウンドゴルフ、健康講話、お話会等を行った。（年11回延べ169名参加） ・ボランティア懇談会を実施した。（9名参加） ・食育、3B体操、人形劇を実施した。 （年3回延べ47組参加） ・談話室と保育園の交流会を行った。 （127名参加）
事 業	（災害時支援部会） 防災倉庫点検	<ul style="list-style-type: none"> ・防災備品の使用確認等を行った。（23名参加）
	（地域交流部会） 南部ふれあいの集い 道野辺保育園交流 南児童センターとの交流	<ul style="list-style-type: none"> ・「知っていますか？尿漏れケアの正しい知識」について学んだ。（92名参加） ・花壇の手入れや園行事の参加をとおして園児との交流を図った。（年6回延べ11名参加） ・春まつり等に参加し交流を図った。 （延べ6名参加）

	南部芸能交流大会 南部いきいきサロン 公民館まつり参加 グランドゴルフ大会	<ul style="list-style-type: none"> ・老人クラブを対象に実施した。(91名参加) ・地域の方を対象に喫茶コーナーを設け交流を図った。(年7回延べ242名参加) ・健康相談、喫茶コーナー、活動展示で地域交流を行った。(22名参加) ・地域の方を対象にグランドゴルフをとおして交流を図った。(113名参加)
	(なんぶ孫の手会部会) ボランティア研修会 孫の手バス研修 のびのびルーム支援	<ul style="list-style-type: none"> ・地域ボランティア(ゴミ出し204件、施設ボランティア等87件、その他2件)活動を行った。(年間293件) ・ボランティア入門講座に参加した。(8名参加) ・伊能忠敬記念館、東薫酒造の見学を実施した。(38名参加) ・運動会、クリスマス会等に参加した。(10名参加)
その他	慈祐苑の納涼祭支援	<ul style="list-style-type: none"> ・車椅子の介助及び着付けボランティアとして参加した。(24名参加)

○ 北部地区社会福祉協議会

	事業名	内容
広報	地区社協広報紙	・「北部地区社協だより」(3,000部)を年2回発行。
ふれあい交流	ふれあいお楽しみ会 ふれあいバスハイク	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の交流と閉じこもり防止を目的に、おしゃらく踊り、花笠会、健口体操の講話で交流を図った。(56名参加) ・ひとり暮らしの高齢者を対象に、牛久大仏へ行き交流を図った。(31名参加)

在宅福祉	<p>介護予防教室</p> <p>友愛訪問</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ひとり暮らしの高齢者、高齢者世帯を対象に健康運動指導士による軽体操、保健師による健康講話、栄養士による食生活についての講話等を実施した。(年3回延べ128名参加) ・ひとり暮らしの高齢者、高齢者世帯(376名)へ品物を持って訪問し、安否確認を実施した。
健康推進	<p>健康体操</p> <p>公開講座</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方を対象に、健康づくりを目的に、健康運動指導士によるすり足予防や軽体操を実施した。(年10回延べ313名参加) ・地域の方を対象に、健康講座、障がい者福祉制度について等の講座を行った。(年8回延べ379名参加)
その他	<p>福祉健康フェア</p> <p>北部ふれあいまつり</p> <p>北部地区地域高齢者支援会議</p> <p>地域交流会</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地区社協活動の内容展示パネルを作成し、啓発に努めた。 ・地区社協の活動内容のパネル展示、炊き出し用具等の災害備品展示を行った。(2,200名参加) ・北部地区の高齢者の現状と支援について意見交換を行った。(年2回延べ45名参加) ・地区ふれあい員、民生委員、自治会役員を対象に、淑徳共生苑へ行き、研修等を行った。(41名参加)

3 ボランティアセンター事業

市内のボランティア活動の拠点として、ボランティアにかかわる相談、連絡、調整、育成をはじめ、市民を対象にしたボランティア体験、各種講座等、ボランティア活動の推進に努め、ボランティア団体への支援や市内福祉団体等からの依頼により、福祉をテーマとした講座にも協力した。また、総合福祉保健センターを会場に災害ボランティアセンター立ち上げ訓練(2月3日:87名参加)を実施した。

①相談・活動状況

相談件数	3,778 件
斡旋件数	675 件

②登録状況

ボランティア団体 (39 団体)	1,008 名	災害ボランティア保険加入者 (7 名)
個人ボランティア	158 名	/
合 計	1,166 名	

○事業の内容等

事業名	開催日	参加者
ボランティア入門講座	6 月 26 日	138 名
市民ボランティア体験講座 (前期 8 コース・後期 8 コース)	7 月 5 日～7 月 27 日 (前期) 2 月 7 日～2 月 24 日 (後期)	10 名 11 名
夏休み福祉講座(8 コース)	8 月 3 日～8 月 29 日	40 名
災害ボランティア養成講座	9 月 20 日	5 名
ボランティア活動スキルアップ講座	2 月 7 日	85 名

○講師派遣 (ボランティア活動等に関する広報及び啓発)

事業名 (依頼先等)	開催日	参加者
子育てサポーター養成講座(こども課)	6 月 6 日	10 名
ブックスタート事業(健康増進課)	6 月 30 日	20 名
ボランティア合同定例会(健康増進課)	8 月 29 日	20 名
アイマスク体験 (初富小学校 5 年生)	9 月 19 日	児童 98 名 ボランティア 23 名
手話講座(初富小学校 JRC 委員会)	10 月 31 日	児童 18 名 ボランティア 8 名

手話講座(初富小学校手話クラブ)	11月1日	児童5名 ボランティア2名
車いす体験(南初富連合自治会防災訓練)	11月19日	参加者250名 ボランティア9名
手話講座(南部小学校 教職員)	11月30日	教職員20名 ボランティア7名
ボランティア活動のポイント (シニア・ピア・なごみ)	2月22日	会員22名

4 在宅福祉サービス事業

(1) ふれあいサービス

高齢者や心身に障がいのある方、子育て中の方が日常生活でお困りのとき「利用会員」となり、地域の中から参加した「協力会員」が家事援助等のサービスを有料で提供する会員制の相互扶助の福祉サービスを実施し、利用会員の自立を目標に、在宅福祉の増進に努めた。

○活動状況

協力会員	登録者数	40名
	活動人数	29名
利用会員	登録者数	65名
	利用人数	39名
延活動利用回数		881回
延活動利用時間数		1,302時間

○協力会員の研修会

内 容	開催日
協力会員登録・更新説明会 講義「ラフターヨガ」実習「認知症予防ゲーム」	4月11日
調理実習「お年寄りの夏場の食事づくり」 講義「食中毒など食品衛生上の注意」	7月7日

講義「癒しのエッセンス」 実習「アロマオイルのハンドマッサージ」	8月30日
調理実習「子どもに喜ばれる食事づくり」 講義「産後の母親のケアについて」	1月12日
講義「うつ症状への理解～支援者としての心がまえ」	2月26日
「銀木犀」施設見学、昼食試食会、VR体験 (バーチャルリアリティで認知症の世界を知ろう)	3月7日

参加延人数 142名

(2) 在宅介護者のつどい

在宅で身体の障がいや認知症等により、要介護状態にある家族等を介護している方を対象に、リフレッシュ事業を開催し日頃の介護疲れを癒し、介護者同士の情報交換の場として、月1回実施した。

また、高齢者支援課の協力により健康面などの相談を行った。

○事業の内容等

内 容	開催日
介護体験等意見交換	4月6日
レクリエーション「簡単な工作と頭の体操ゲーム」	5月10日
バスハイク「京成バラ園」	6月13日
暮らしに役立つ調理実習「夏野菜のドライカレー」	7月12日
フラダンス	8月31日
リラクゼーション 「テニスボールやペットボトルを利用した体操」	9月14日
フラワーアレンジメント「苔玉づくり」	10月16日
軽スポーツ、レクリエーション	11月15日
クリスマス交流会「フラワーアレンジメント」	12月15日
新年交流会「ニューイヤーコンサート」	1月11日
手工芸「折り紙で作るおひな様」	2月14日
講演「骨やカルシウムについて」、骨密度測定	3月16日

参加延人数 132名

○地区別「在宅介護者のつどい」

- ・在宅介護の現場で介護する家族の孤立を予防する一助として、西部地区社協の協力により地区懇談会を実施した。(年2回開催)

5 相談事業

(1) 心配ごと相談 (毎週水曜日 10:00～14:00) 開催日数は48日であり、民生児童委員10名、学識経験者4名で相談にあたった。

(2) 心の相談 (毎週月曜日、金曜日 10:00～15:00) 開催日数は90日であり、カウンセラー3名で相談にあたった。

○相談内容・延べ件数

	相談内容	心配ごと相談		心の相談	
		来談	電話	来談	電話
1	生計問題	4	3	0	0
2	年金問題	0	0	0	0
3	職業・産業問題	0	0	1	0
4	住宅問題	2	2	0	0
5	家族問題	12	10	21	53
6	結婚問題	0	0	0	0
7	離婚問題	0	0	0	1
8	健康・衛生問題	0	1	6	8
9	医療問題	0	1	0	0
10	精神衛生問題	0	2	6	6
11	人権・法律問題	1	1	0	0
12	財産問題	1	2	0	0
13	事故問題	0	0	0	0
14	児童福祉・母子保健問題	0	0	0	0
15	教育・青少年問題	0	0	0	0
16	心身障がい者(児)福祉問題	0	1	0	0

17	母子・父子福祉問題	0	0	1	0
18	老人福祉問題	0	1	0	0
19	苦情問題	1	0	0	0
20	その他	5	6	0	2
	合計	26	30	35	70
	総合計	56		105	

○相談員研修会

相談員を中心に社協職員研修を兼ね日頃の相談業務に役立つ研修会を開催した。

開催日	平成 29 年 12 月 4 日
講師	千葉県消費者センター 消費生活相談員 葭村由美子 氏
内容	テーマ 「カード時代の落とし穴」 講義・事例紹介等

6 資金貸付事業

◎総貸付相談件数 140 件（延べ相談件数 311 件）

(1) 福祉資金（鎌ヶ谷市社協独自の貸付）

○低所得世帯で一時的に生活等が困難な世帯への貸付。

・滞納世帯 2 件

○年度末貸付額 212,800 円

＜社協 54,000 円（2 件）、社会福祉課取扱い（要保護世帯）158,800 円＞

○償還免除（6 件：94,920 円）

(2) 生活福祉資金（受託事業〈実施主体：(福)千葉県社会福祉協議会〉）

○低所得世帯、身体障害者世帯等の自立更生、生活の安定を図るための貸付。

・貸付申請(決定)額 13,461,000 円（15 件）

資金種類		貸付決定額	件数
福祉資金	福祉費(転宅 1、葬儀 1)	607,000	2

福祉資金	緊急小口資金（医療費 1、初回給与 2、失業給付 1、家賃 1、生活保護 1）	550,000	6
教育支援資金	教育支援費、就学支度費（大学 4、専門学校 1、高校 2）	12,304,000	7

○不動産担保型生活資金（要保護世帯向け） 1世帯：貸付額 2,088,000 円

○台帳移管事務：転入 1世帯〈千葉市緑区〉（教育支援資金）

○生活福祉資金の償還状況

・年度末償還中世帯 109件

（総合 48. 福祉(福祉)14. 福祉(小口)26. 教育 17. 離職 3. 復興支援 1）

・平成 29 年 4 月～平成 30 年 3 月間の償還率は 12.81%

(3) 臨時特例つなぎ資金（受託事業〈実施主体：(福)千葉県社会福祉協議会〉）

○住居のない離職者で、公的給付制度等を申請している方の、当面の生活費を支援するための貸付。

・償還期間に入っている世帯 1件

(4) 償還を促す指導

○「償還残高のお知らせ」等の送付(年 4 回)〈借受人、連帯借受人、連帯保証人、担当民生委員〉

○督促状、請求書等の送付((福)千葉県社会福祉協議会及び本会より)

○借受世帯への訪問(62件)

7 地域福祉権利擁護事業

(1) 日常生活自立支援事業

地区社協や民生児童委員、介護事業所や地域包括支援センター、福祉行政機関等に対して、事業の啓発活動を行った。また福祉サービスの利用手続きや、日常生活の金銭管理等を行うことが難しい状況にある高齢者や障がい者等の生活を安定させるための相談受付及び契約業務を次のように取り扱った。

①相談・訪問調査等

区 分	新規相談受付人数	契約者相談・訪問 調査延べ回数
高齢者	11	229
知的障がい者	0	0
精神障がい者	4	81
上記以外	1	29
合 計	16	339

②利用契約件数

区 分	件 数
高齢者	6
精神障がい者	2
その他	1
合 計	9

*年度内解約 1 件（高齢者）

③生活支援員状況

区 分	人 数
登録者	6
現任者（活動者）	6
合 計	12

*内、今年度新規登録者 4 名

④関係機関との情報交換

日常生活自立支援事業への理解と権利擁護問題に関して、関係機関連絡会を平成30年2月19日に開催し、行政及び基幹相談支援センターと相互に情報交換を行った。

(2) 成年後見制度の啓発事業

①成年後見制度・遺言相続個別相談会

将来に備え、成年後見制度の利用及び遺言相続について司法書士の協力を得て、相談会を開催した。(協力：公益財団法人社団法人成年後見センター・リーガルサポート千葉県支部)

期 日	会 場	相談件数	相談内容
10月17日	市社協・相談室	3	① 資産の相続等 ② 障がいを持つ子の成年後見制度の利用等 ③ 遺言書の書き方
11月16日	市社協・相談室	2	① 遺言等 ② 障がいを持つ子の後見人利用等

8 善意銀行

○寄付金総額 929,575円(42件)

①金銭の払出し (円)

払 出 先	金 額	備 考
地区社協	315,631	助成金
鎌ヶ谷市防災訓練	19,440	訓練に関するPRグッズ配布
ボランティア・福祉団体等	106,953	目的別寄付
小中学校	311,014	児童生徒への支援
要援助者支援	15,800	災害見舞金等、帰宅旅費等
合 計	768,838	

○寄付物品(3件)

①物品の払出し

払 出 先	物 品 名
災害時用	1.5ℓ保存水80本
高齢者給食	米30キロ
すまいる祭り	クリスマス菓子セット400袋

9 受託事業

(1) 福祉作業所友和園（指定管理者制度）

法定事業所（就労継続支援B型と生活介護）の多機能型事業所として、心身に障がいがあるため就職困難な方に対し、社会生活における適応性を高める指導を行った。所員の定員は就労継続支援B型20名（在籍は16名）、生活介護10名（在籍12名）であった。

生活指導の面では、社会自立、身辺自立に必要な基本的な生活習慣が身に付くように、月例行事などいろいろな機会をとおして、具体的な指導を行った。

特に就労継続支援においては、知識、技能及び就労態度を養うための指導を行い、また作業指導の面では、ラベル貼り、菓子箱折り、部品の袋詰め等の簡易作業や地域新聞の配達、公園の清掃、アルミ缶・ペットボトル回収の作業を行った。

また、自主生産として、手芸品、紙すき製品などを作り販売した。工賃収入として、1,857,836円であった。

その他、作業所の円滑な運営を図るため、保護者会を2回、個別支援計画の確認のため、個別面談を2回実施した。さらに、広報「ゆうわ」を4回発行し施設内外の情報提供に努めた。

(2) 地域福祉センター（指定管理者制度）

地域福祉活動の拠点となる、総合福祉保健センター内の地域福祉センター（大会議室〈年間利用292回〉、団体活動室〈年間利用334回〉、調理室等）の貸出し業務を行った。

10 共同募金運動

(1) 赤い羽根募金（10月～12月実施） (円)

区分	募金団体等	募金額
戸別募金	45自治会	5,525,958
学校募金	市内小、中学校、高等学校	181,458
法人募金	商店、会社等 274件	918,931
その他募金	職域、個人、団体等	144,201
合計		6,770,548

※ 赤い羽根募金は全額、千葉県共同募金会に送金し、翌年度の事業費として約70%の配分を受ける。

(2) 歳末たすけあい募金(12月実施)

○収入 (円)

区 分	募金団体等	募金額
戸別募金	45 自治会	3,596,253
その他募金	法人、個人、団体等	226,921
合 計		3,823,174

○配分 (円)

区 分	配分先	金 額
要援助世帯	51 世帯 (生活困窮者へ緊急的支援、福祉ニーズに対する支援含む)	2,356,000
市民入所施設	22 施設	660,000
市内施設・団体等	17 件	664,138
合 計	90 件	3,680,138

平成29年度 事業報告の附属明細書

平成29年度事業報告には、社会福祉法第45条の27第2項に規定する附属明細書については、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

平成30年5月

社会福祉法人 鎌ヶ谷市社会福祉協議会